



Sperm donor as a tourist.

旅する精子ドナー

Interviewee

Mr. Kyle Gordy

Q. 自己紹介を簡単にお願いします。

自分を「身元がわかっている精子ドナー」(known sperm donor)だと認識している。レシピエントが精子ドナーの身元を知っているから、精子バンクを利用するよりももっと心の通った選択肢だといえる。"身元が知られている"ことが子供に"アイデンティティ"の感覚を与え、精神的な健康に役立つと考えている。また、子供が望めば、将来的に会うこともできる。

自分の考えでは、身元が知れているドナーは匿名のドナーよりも倫理的だと思う。真偽のほどは定かではないが、精子バンク経由で生まれた子供の約半数が、1) 実の父親を知らないこと、2) 自分の出生について話してくれなかった両親を恨んでいること、などの心理的問題を抱えていると聞いたことがある。もうひとつの利点は、レシピエントが精子バンクとの連絡に煩わされる必要がないことだ。

自分の提供のスタイルを "Get your cake and eat it too" (ケーキを食べながらケーキを買う) 方式の契約と表現している。妊娠した後の契約のルールを決めるのも、将来子供と会うかどうかを決めるのも、依頼親に任せる。少数だが、親が子供との接触を望まないケースもある。大多数の依頼親はドナーとの定期的な接触は望まないが、ある程度の接触を保ち、ドナーの近況報告や

写真をもらうことを望んでいる。自分が相手側に近況報告を求めると喜んで応じる人もいるが、積極的に連絡を取ろうとはしない。

これまでに 14 人の実子と会っていて、何回も会っている人もいる。連絡を取り合っている子供たちは、定期的に写真を送ってくれる。精子バンクへの提供は冷淡で臨床的だが、直接提供することで依頼親と関係を築き、子供たちの様子を知ることができるのがいい。また、フェイスブックのグループなどを通じて何人かの母親とつながっている。ロサンゼルスでは、2 人の母親がスーパーマーケットで偶然出会った。母親同士がつながっているため、近親相姦などのリスクはないと思う。さらに、世界の人口を見れば、近親相姦の可能性は天文学的に小さい。

提供のために報酬をもらっているわけではなく、自分で費用を賄っている。とても質素な生活をしていて、一番安い Airbnb に泊まる。何年も前に GoFundMe に自分のページを作ったが、成功しなかった。会計と金融の学位を持っているので、副業として会計の仕事も少ししている。

現在、マニラにいて、ちょうど子供たちに会ったところ。このケースでは、自分は子供の出生証明書に記載されているので、子供たちは米国のパスポートを申請できるようになる。米国の市民権は、自分が提供できるもうひとつの利点だ。

2024 年 2 月で精子提供歴 10 年になる。精子提供の動機は、遺伝的に繋がった子供が欲しいから。なぜかというところ、自分には子供がいなくて、これから子供を持つかどうかはわからないから。はじめは、パートナーを見つけて自分の家族を持つつもりだったが、交際は非常に難しく、離婚率も高い。子供を持たない男性も多く、それが自



分にとっては恐怖だった。もし過去に戻って、今の道ではなく、恋愛を選ぶチャンスがあったとしても、精子提供の決断を変えないだろう。どうせその関係は続かなかっただろうから。

家族は、精子を広く提供していることを知っている。父親と双子の弟はかまわないと思っているが、母親は無関心だ。そのことについて定期的に話し合うわけでもなく、子供たちに会うことにも興味はない。

Q. 遺伝的子供を持つ意味は？

誰もが同じ衝動を持っていると思う。将来の世代という形で遺産を残したいのだ。たとえ自分が子育てに積極的でなくても、それは意味のあることだと信じている。歳を取ったら、子供がいなければ誰もいない。40代で子供がいなくて、あるいは一人しかいない女性たちとたくさん話をするが、彼女たちも同じように感じている。特に女性の場合は、精神的な負担が大きい。

Q. 精子の質を保つためどのような健康管理をしていますか？ レシピエントの妊娠率は？

精子の質を保つために最善を尽くしている。健康にいいオーガニック食品は、アジアでは欧米より高価なので、アジアを旅行している時にオーガニック食品を食べるのは難しいと感じている。毎日 14~15 種類のサプリメントを摂取し、濾過された水を飲み、天然の歯磨き粉を使うようにしている。

最近の精子検査では、以下のような結果が出た：

- 総運動率 58%、進行性運動率 55%で、1 ミリリットルあたり 216 個の精子がある。

多くの女性が不妊の問題を抱えており、年齢も高いため、成功率を定義するのは難しい。また、排卵の有無にも左右される。とはいえ、自分の精子による成功率はクリニックよりも間違いなく高い。

Q. どのようなプロフィール（自分の情報）をレシピエントに対して提供していますか？

定期的な性病検査のエビデンス、家族についての情報、健康についての情報を提供する。それはある意味、デートに似ている。また、自分が提供した精子から生まれた子供の写真も見せる。時々、将来のレシピエントと過去のレシピエントを結びつけ、経験について学べるようにしている。小さなアンケートに答えるよう求める人もいるが、面倒だから応じない。情報交換のための打ち解けた電話をするのが最善の方法だと考えているから。

Q. レシピエントとのコンタクトの方法は？ 具体的にどのようにして提供していますか？

ほとんどの場合、オンラインでレシピエントとコンタクトを取る。

85%の女性はレズビアンなので、カップに入れて提供する。10%以下のケースでは、レシピエントと性交する。これらの女性は必ずしも自分が交際相手に選ぶような女性ではない。自分の理屈では、本当に見栄えのいい人はボーイフレンドがいるはずだから、妊娠するのに苦労することはないだろうということになる。自分が精子提供の目的で性交した女性のほとんどは、恋愛に失敗した年上（30~40代）の女性たちだった。彼女たちは本当はもっと早くに妊娠したかったのだろう。



定期的に提供をするというライフスタイルのせいで、パートナーが嫉妬したり、不快に感じたりして、順調な恋愛をするのが難しいことがわかった。過去に一人のレシピエントと付き合いがあったことがある。彼女は中国人かカンボジア人だったが、自分が提供を続けるのを嫌がった。

精子提供を完全に諦められるかどうかわからない。子供は永遠だが、恋愛関係は一時的なものだから。自分の選択の結果を受け入れ、長期的に独身でいることをよしとしている。90%の人は別れるのだから、その代わりに誰かと子供を作り、永遠に仲良くしている方がいい、と思っている。

Q. レシピエントはどのような人たちですか？ どんな人に提供したいですか？

これまで、以下のような状況で4組の男女カップルに提供した：

- 男性が高齢で、不妊症かパイプカットをしている。
- トランスジェンダーと思われる男性。
- 男性の遺伝子が悪い（糖尿病などの既往歴がある）。
- 女性が「白人の赤ちゃん」を望んでいた。彼女はメキシコ人の夫との間にすでに7人の子供がいた。が、そのうちの半分に障害があった（滅多にないことであり、自分は、遺伝的な問題は女性にあるのではないかと疑っていたが、確かなことは言えない）。

レシピエントの大半はレズビアンのカップル（約85%）だが、独身女性にも提供している。

Q. すでにあなたの精子から何十人と子供が生まれていますが、レシピエントはそのことを気にしますか？

女性たちがこのことを気にすることは非常にまれ。自分は、身元がわかるドナーとして行動し、フェイスブックのグループなどを通じてレシピエントの家族とつながっているため、近親相姦の危険性はない。

Q. 何歳まで提供しますか？

迷っている。自分の助けを必要とする人がいなくなるまでドナーを続けられたらと思う。男性は一生妊娠させることが可能だが、70代まで精子提供を続けたいかどうかはわからない。おそらく、誰も自分の精子を必要としなくなれば、60代で止めるだろう。

Q. 遺伝子は重要ですか？ 血のつながり、育ての親、どちらがより重要ですか？ 子供の性格や能力は、遺伝と環境、どちらの影響が強いと思いますか？

遺伝子と環境の影響は半々だと思う。日本人とカナダ人のハーフの女性を自分の精子で妊娠させたことがある。生まれてきた子供は、「天才」で、それは自分の遺伝子を反映していると思っている。自分の子供たちの中には、他の子供たちよりもずっと進んだレベルの子もいる。例えば、自分の精子から生まれた子供には、その年齢の平均の2倍のテストを受ける子供がいる（例えば、4歳なら8歳のレベルのテスト）。もちろん、親がしっかり育てれば、子供はより良く育つ。

子供が育つ環境は確かに影響がある。自分が父親となった子供たちの結果に人種間の格差があることがわかっている。白人



やアジア系の子供たちは、黒人やヒスパニック系の子供たちよりも恵まれている傾向がある。経済的、社会的な要因もあるが、これらの家庭はアジア系や白人の家庭ほど食事の内容が良くない傾向があるから。金銭的要因は確実に関係している。

Q. これまでの渡航先、提供人数、生まれた子の数を教えてください。海外で提供する理由は？これから行きたい国は？

以下の国々で子供が生まれている：

- アメリカ
- メキシコ
- カナダ
- オーストラリア（これから生まれる）
- 香港
- フランス
- スコットランド
- イギリス
- イスラエル（これから生まれる）

アメリカにいるのが退屈で、旅行が好き。LAにとどまって質素な生活を送ることもできるが、それでは退屈だと考えている。

これまで、ニュージーランドへの入国を3度拒否された。ニュージーランドは非常に偏見に満ちた国だ。オーストラリアも最初は入国を拒否されたが、弁護士を立てて2日後に入国を許可された。（精子提供の他に）純粋にオーストラリアに観光に行くつもりだった。現地の人とセックスをしてはいけないというルールはないが、旅費を払ってもらうことは「働く」（つまり「報酬を得る」）ことと同じだというのが彼らの主張だった。その事例では、旅費の

一部はレシピエントによって支払われていたから。

カナダからも一度入国を拒否されている。事前に入国管理局に問い合わせたところ、そのような個人的な手配は問題ないとアドバイスされた。にもかかわらず、その後、精子バンク以外での精子提供を行おうとしていたことを理由に、入国を拒否された（彼らの法解釈は違法だと思う）。カナダへの入国は禁止されていないが、必ず出国することを指示された。自分がやろうとしていることに非常に前向きだが、入国管理局の職員は自分に、嘘をつくべきだったと言った。興味深いのは、性交で提供する場合はカナダに入国できるということ。しかし、どうやら彼らは実際に性交が行われるかを確認するためにレシピエントに電話をかけたらしい。

Q. 最年長の子供は何歳ですか？連絡を取っていますか？養育費の請求がありますか？出自を知る権利についてどう思いますか？

長男は2024年11月1日に9歳になる。

養育費を求めたいとほのめかす女性が何人かいた。結局、彼女たちは親権を共有したくなかったため、それまでには至らなかった。ドナーになった自分には法的な保護がなく、ほとんどの場合、女性たちが望めば養育費を取られることはわかっている。これは自分にとって「計算済みのリスク」(calculated risk)だ。

Q. 日本に来るのは初めてですか？日本の女性・男性からコンタクトはありますか？

2024年2月11日、精子提供のために東京を訪れる。提供する女性は東京に住んで



いる。ベトナム出身の女性で、性交によって自然妊娠する予定。日本の入国審査はかなり緩いようで、犯罪歴さえなければ入国できる。

12月に日本に戻り、京都と大阪で他の女性に提供する可能性がある。また、富士山を見に行ったり、東京を観光したりして過ごしたい。

つい最近、日本初の精子バンクがオープンしたと聞いた。もし受け入れてくれるなら提供したいが、おそらく外国人は受け入れてくれないだろう。

日本と韓国の女性は "アジアのゴールド・スタンダード" だと思う。その意味は、非常に優秀で IQ も高いということ。日本では独身女性が多く、また、働く文化が支配的だと聞いている。にもかかわらず、日本の女性から連絡が来ることは非常にまれで、連絡を取った女性たちも、最終的に精子提供に踏み切らないという選択をしている。日本の知り合いの女性は、自分のためにフェイスブックで日本人をターゲットにしたグループを作ってくれたのだけれど。

韓国、シンガポール、北京にも行きたい。11月に北京に行く予定だったが、タイミングが合わなかった。

(2024年1月)

Mr. Kyle Gordy

2018年7月より Sperm Donation USA の運営をしている。金銭的な利益を得ずに精子提供をしている。22歳で精子提供を積極的に始め、2024年2月で精子提供歴10年となる。

全米各地、海外へも渡航し提供しており、65人以上の子供の実親である。

Instagram : @Kylegordy123